

第4章 今後に向けて

本計画の達成度を測るため、以下のとおり成果指標を設定し、本計画に記載している取り組みを計画的かつ効率的に実施することで、目標達成を目指す。

また、計画策定後は状況の変化等により見直しの必要があると認めるときは、計画内容の改定や計画期間の延長等を検討する。

4-1. 成果指標と目標値

市内に現状（令和6年度）540件の空家があるが、人口減少により住宅ニーズが減少していくことが予想され、加えて、高齢化が進行する中、死去や施設入所に伴い、今後も空家は増加すると予想されている。各種取り組みを実行することで空家の解消を進め、空家数の増加を防ぐよう努める。具体的な成果目標については以下のように定める。

	現状（令和6年度）	目標値（令和12年度）
空家数	540件	現状維持
① 管理不全空家等の件数	※1	15件
② 特定空家等の件数	※2	0件
③ 危険空家等解体工事補助金の件数	令和3年度からの累計 5件	令和3年度からの累計 15件

※1 計画未策定のため現時点で認定している管理不全空家等はないが、管理不全空家等に該当するおそれのある物件は現状30件程度ある。

※2 計画未策定のため現時点で認定している特定空家等はないが、特定空家等に該当するおそれのある物件は現状3件程度ある。

- ① 管理不全空家等の件数については、現時点で認定している空家等はないが、今後も早期に改善するよう促すことで管理不全空家等の発生を最小限に留めるよう努める。
- ② 特定空家等の件数については、現時点で認定している空家等はないが、今後も早期に改善するよう促すことで特定空家等を発生させないように努める。
- ③ 危険空家等解体工事補助金の件数については、制度の周知を図り、補助金を活用することで危険空家等の解消に努める。